

買い物難民を救う 移動スーパーと これからのまちづくり

移動スーパーげんき号

代表 北野 良



人と人をつなぐ小さな挑戦

高齢化が進み、地域のつながりが希薄になるこの時代。松江市での「小さな挑戦」を通して、失われつつある人と人との温かいつながりを取り戻したい。



これから私たちが直面する課題

買い物という日常の営みが失われると、
地域の「会話」も「つながり」も静かに消えていきます。

◆高齢者の孤独化

地域のつながりが薄れることで、多くの高齢者が孤独を感じています。

特に一人暮らしの方々にとって、日々の人との交流は生きがいにつながります

◆地域との関わりの減少

核家族化や価値観の多様化により、地域コミュニティへの参加が減少。世代間の交流機会も限られています。

◆買い物機会の喪失

地方では商店の減少により、高齢者の「買い物難民」問題が深刻化。買い物は単なる物の取引ではなく、人とのつながりを生む大切な機会です。

移動スーパーげんき号の活動実績

7万～9万円

1日の売上

活動エリア

持田地区、本庄地区、島根町、淞北台などの松江市内の複数地域

60人～70人

1日のお客さん

取扱商品

肉以外の食品、日用品など約300種類

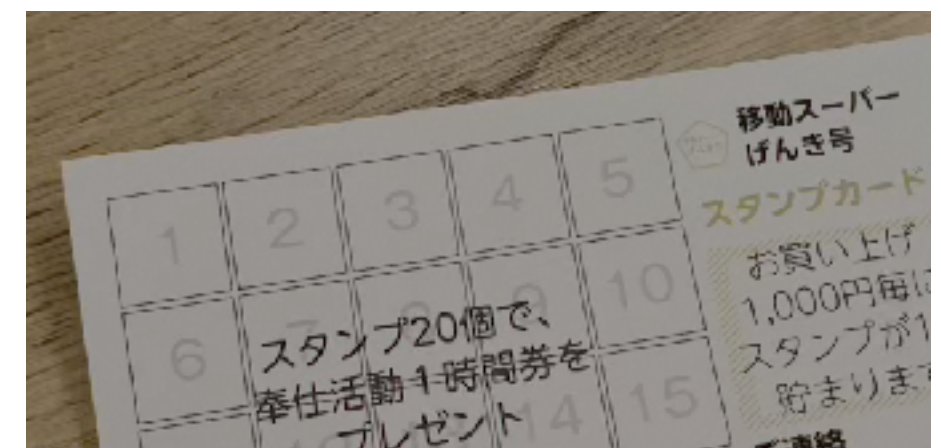
17、18カ所

1日の訪問箇所

スタンプカード

・1,000円の購入ごとにスタンプ1つ

・20個（1枚）貯まると「1時間奉仕活動券」になる



活動を始めたきっかけ



「買い物ができなくて困っている」

知り合いのおばあちゃんの一言で始めました。

地域に、何が本当に必要とされているのかを知るために移動スーパーの活動を始めました。スタンプカードは、見えない困りごとを見つけるための手段の1つです。

お客さんとのエピソード

高齢化が進み、地域のつながりが希薄になるこの時代。松江市での「小さな挑戦」を通して、失われつつある人と人との温かいつながりを取り戻したい。

◆「ちょっとだけが助かる」

野菜のバラうりが好評。一人暮らしだと大量に消費できないため、少量販売が喜ばれています。

◆助け合いの循環

スタンプカードを通じて、草刈りをしたり、スマホの使い方を教えたり、逆に何か教えてもらったりする関係に

◆地域の伝言板に

「今日は〇〇さん来られんね」という会話から自然な見守りの場になっています

◆私自身の変化

自分の家族や地域について深く考えるようになりました。80、90代の方の会話から昔の知恵や情報を学びました

お客さんとのエピソード

①



②



お客さんとのエピソード

③



④



⑤



地域・団体との連携

この活動の中では、地域の事業者様のお客様を奪うのではなく、それぞれの価値を拡張し合う関係を目指しています。



社会福祉法人みずうみ さん
リホープストア（淞北台）での販売



シンクユー さん
靴下の委託販売による協力



わたなべ青果店 さん
地元野菜の仕入れで協力



パンェブール さん
人気のヨーグルトパンなどを販売

持田地区に住む島根大学の学生



持田地区での学生シェアハウス

BONSAI HOUSE

島大生（留学生可）

盆栽ハウス
入居者募集

短期でも長期でも入居可能！

持田公民館近くにある盆栽ハウスの入居者を募集中です。大学からの短期留学生2人（2ヶ月間）、インドからの長期留学生1人（2ヶ月間）、パンサーダニーの募集です。インドの留学生3人の募集もあります。BIVR地区は交通利便、友達とシェアしてもOK。就労中の募集も可能。

長期入居（4ヶ月以上）

月謝料金2万5,000円（月謝）
保証20,000円
光熱費7,000円（電気、ガス、水道、Wi-Fi）

短期入居（3ヶ月以内）

月謝料金20,000円（月謝）
保証10,000円（電気、ガス、水道、Wi-Fi）

応募方法

メールor LINEでご連絡ください。

持田暮らしたい
街づくりプロジェクト

代表：北野
メール：mcc

これからのビジョン

販売エリア、営業日の拡大

- ・ 2026年中に2台目の販売車の導入
- ・ 松江市内全土に販売エリアを拡大
- ・ デジタルサイネージを使った街の情報発信
- ・ 高齢者だけでなく幅広い世代が集まる仕組みづくり



目指す未来の社会像

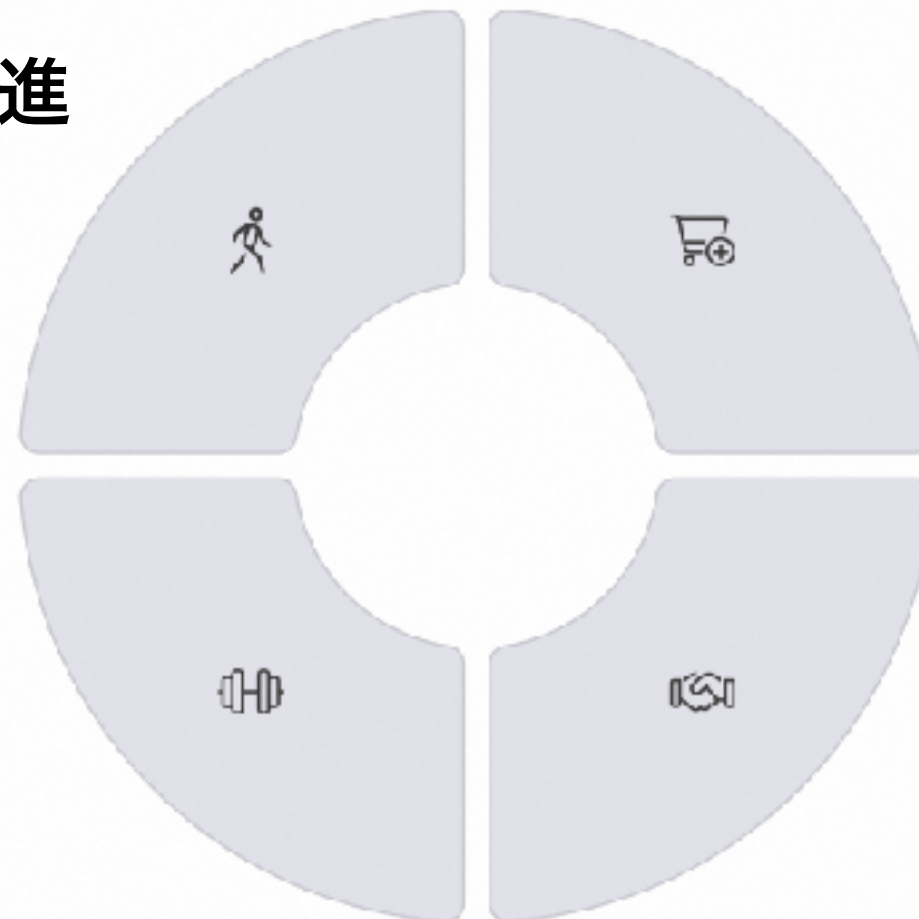
げんき号が目指すのは、買い物を通して元気になってもらうこと

高齢者の外出促進

買い物の機会が増えることで、高齢者の外出頻度が向上。これが自然な形で介護予防につながります。

若者の地域参画

若者が地域で仕事や意義ある役割を持ちやすい社会構造を作ります。



食料アクセスの改善

2030年には松江市の約40%が65歳以上になる中、全世代が近所で食料を買える環境を整備します。

世代間交流の促進

買い物という日常的な場面を通じて、自然な形で世代間交流が生まれます。

移動スーパー

元気のもとは、
買い物から

げんき
GO

ご協力のお願い

販売場所の提供

「販売場所としていいかも」や自宅の空きスペースを提供してもいいという方は、ぜひご連絡ください。販売に来て欲しいという地域の方のご連絡もお待ちしています。

地域の事業者様

商品や特産品を売ってほしい、地域に向けて情報発信や広報を行いたい、販売してほしい、そんな事業者様や団体様、ぜひご連絡ください。

声かけ活動の担い手

地域の困りごとや販売して欲しい場所と一緒に調べてくださる方も、ぜひご連絡ください。



まちづくりへのメッセージ

「近くに買い物できる場所がある」それだけで、高齢者の生活に安心が生まれます。

これは若者や働く世代にとっても重要なことです。

「世代間の価値観を尊重しあいながら、誰もが関われる仕組み」が必要です



私は今、小さな挑戦を通して、未来の実験をしていきます
この挑戦に、一緒に関わってくださる方を心からお待ちしています